

横断歩道橋名・所在地・管理者名等

点検DB登録用

横断歩道橋名	路線名	所在地	設置位置	緯度		施設ID
				経度		
(フリガナ)						
管理者名		代替路の有無	緊急輸送道路	占用物件(名称)		

横断歩道橋毎の健全性の診断

横断歩道橋諸元

告示に基づく健全性の診断の区分

架設年度	橋長	通路幅員	横断歩道橋形式

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日		定期点検者	
-----------	--	-------	--

	想定する状況				
	活荷重		地震		その他
横断歩道橋 (全体として)					( )
上部構造		写真番号		写真番号	( ) 写真番号
下部構造		写真番号		写真番号	( ) 写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号	( ) 写真番号
階段部		写真番号		写真番号	( ) 写真番号
その他の接続部		写真番号		写真番号	( ) 写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号	( ) 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、階段部、その他の接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		定期点検実施年月日		定期点検者	
構成要素			構成要素		
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態	
写真番号			写真番号		
1	径間	部材番号	2	径間	部材番号
備考			備考		
構成要素			構成要素		
想定する状況	構成要素の状態		想定する状況	構成要素の状態	
写真番号			写真番号		
3	径間	部材番号	4	径間	部材番号
備考			備考		

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID		定期点検実施年月日		定期点検者	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)			健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	塩害	防食機能の低下	その他				
上部構造							
下部構造							
上下部接続部							
階段部							
その他の接続部							
その他(フェールセーフ)							

所見	(適宜、所見を記入)
----	------------

定期点検記録様式(その1) 横断歩道橋の諸元と総合検査結果

ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月日	今回 :	前回 :
橋梁名		路線	道路種別		路線指定			
所在地			路線名		点検者(社名)		点検責任者	

供用開始日		橋長		活荷重・等級		等橋	適用示方書		調査年	年度				
上部構造形式		幅員	全幅員	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交通条件	センサス 区間番号	
			有効幅員			-	-	-	-		-	-	交通量 (昼間12時間)	台
下部構造形式		備考										大型混入率	%	
基礎形式												荷重制限	t	

総合検査結果	健全度 (横断歩道橋単位)		

定期点検記録様式(その2) 径間別一般図	径間番号	
----------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	

全 体 図	
一 般 図	

○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない個所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	
----------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	

現 地 状 況 写 真	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	径間番号				径間番号				径間番号			
	メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)			
	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
	径間番号				径間番号				径間番号			
	メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)			

定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	
----------------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	

部材番号図及び要素番号図	
--------------	--

定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法	径間番号	
-----------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所

	部材名	部材番号	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援					
記録のための支援					

○近接目視又は打音、触診ができていない箇所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

定期点検記録様式(その6) 横断歩道橋の健全性の診断に関する所見	径間番号	
----------------------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	

### 健全度判定

	写真番号	径間番号	部材名	部材番号
	損傷の種類			
損傷写真				
所見				
今回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	
前回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	

	写真番号	径間番号	部材名	部材番号
	損傷の種類			
損傷写真				
所見				
今回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	
前回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。





データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	
------------------	------	--

フリガナ 橋梁名	路線名	ブロック番号	施設番号	緯度	
				経度	

損 傷 図	
-------------	--

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	
--------------------	------	--

フリガナ 橋梁名		路線名		ブロック番号		施設番号		緯度	
								経度	
備考									

損 傷 写 真	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
	部材名		要素番号		部材名		要素番号		部材名		要素番号	
	損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	
				前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度
				メモ				メモ				メモ
				舗装のよれ 0.7×0.15m								
	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
	部材名		要素番号		部材名		要素番号		部材名		要素番号	
	損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	
				前回損傷程度				前回損傷程度				前回損傷程度
			メモ				メモ				メモ	





